

広報やいた City of Yaita Public Relations

# 平成27年度 予算特集号





## 市民の皆さんへ

平成27年度の日本経済は、海外景気の下振れなど、景気を下押しするリスクに留意する必要があるものの、平成26年12月に政府が策定した「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に示された各種政策の推進などにより、雇用・所得環境が引き続き改善し、好循環がさらに進展するとともに、堅調な民需に支えられた景気回復が見込まれています。

このような中で、矢板市の財政は、歳入の根幹である市税収入が伸び悩み、平成25年度決算では6年連続の減少となり、ピーク時の平成19年度と比較して約10億円減少するなど、自主財源を確保することが難しい状況が続いています。一方、歳出においては、福祉関係の扶助費、介護保険や国民健康保険への繰出金が増加を続けている状況であるため、柔軟性に欠いた財政運営になっています。

しかしながら、平成27年度は、市政運営の指針である「第2次21世紀矢板市総合計画」の前期基本計画が最終年度になります。そのため、財政環境の先行きを見通すことが難しい中であっても、「総合計画」に掲げた重点計画の着実な推進を図ることはもちろんのこと、新たな行財政需要にも優先順位を考慮しつつ、的確に対応していく必要があるため、限られた財源の重点的・効率的な配分に徹する方針で編成を行ってまいりました。

この予算特集号は、市の財政状況や予算がどのように使われているのかを分かりやすく表現することを心がけ作成しました。市の財政状況や事業をお知らせすることは、市民と行政が協働したまちづくりを進めていくためにはとても大切なことであると考えています。

市民の皆さんが、市の財政や事業を身近に感じ、少しでも関心をもっていただくきっかけとなれば幸いです。

矢板市長 遠藤 忠

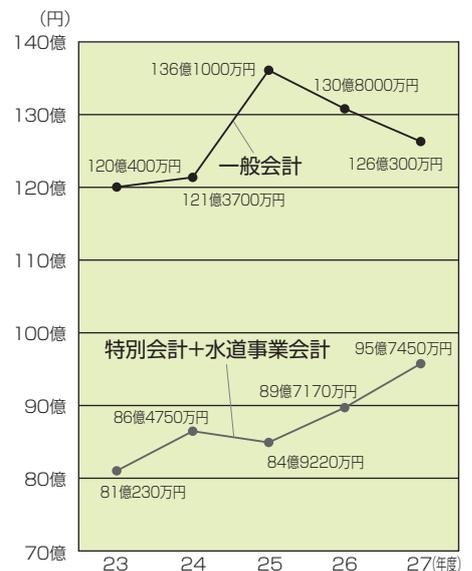
## 矢板市の今年度予算

# 126億300万円（一般会計）

### 会計別予算額

区 分	平成27年度 A	平成26年度 B	増減額 A - B	伸び率 %	
一 般 会 計	126億300万円	130億8000万円	△4億7700万円	△3.6%	
特 別 会 計	介 護 保 険	24億7480万円	23億2920万円	1億4560万円	6.3%
	国 民 健 康 保 険	44億8270万円	39億4580万円	5億3690万円	13.6%
	後 期 高 齢 者 医 療	3億3620万円	3億2730万円	890万円	2.7%
	農 業 集 落 排 水 事 業	5500万円	5500万円		0.0%
	公 共 下 水 道 事 業	8億7580万円	9億400万円	△2820万円	△3.1%
	コリーナ矢板排水処理事業	1760万円	1600万円	160万円	10.0%
	木 幡 宅 地 造 成 事 業	1億9320万円	2億3280万円	△3960万円	△17.0%
小 計	84億3530万円	78億1010万円	6億2520万円	8.0%	
水 道 事 業 会 計	11億3920万円	11億6160万円	△2240万円	△1.9%	
合 計	221億7750万円	220億5170万円	1億2580万円	0.6%	

### 当初予算の推移

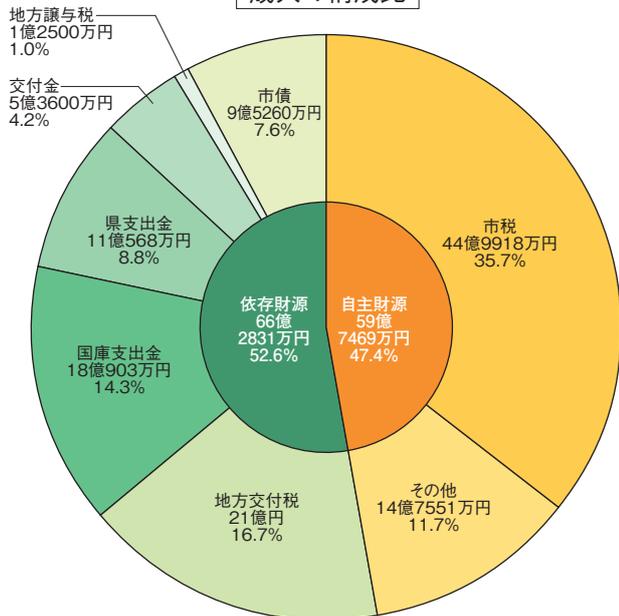


一般会計／市の基本となる会計

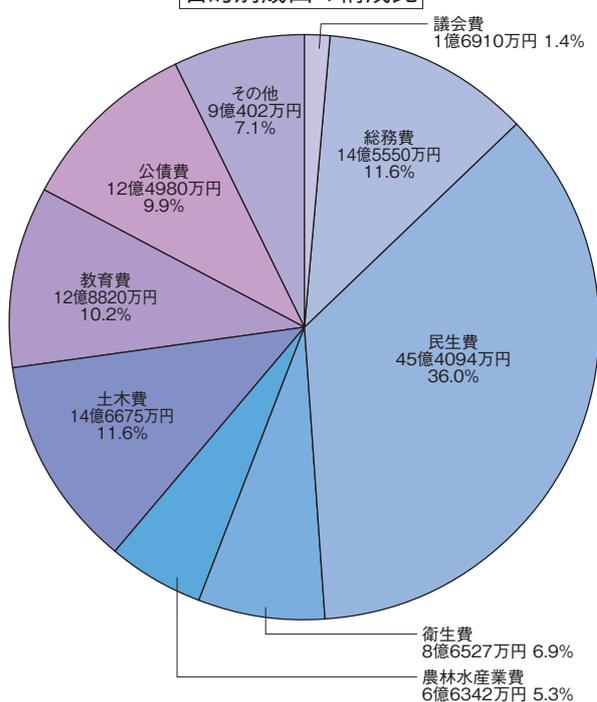
特別会計／特定の歳入を特定の事業に充て、一般の会計と区分して経理する会計

# 予算の各構成比

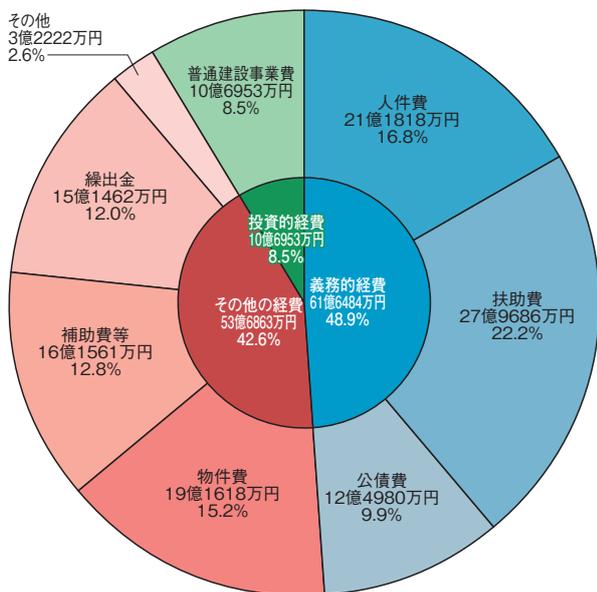
歳入の構成比



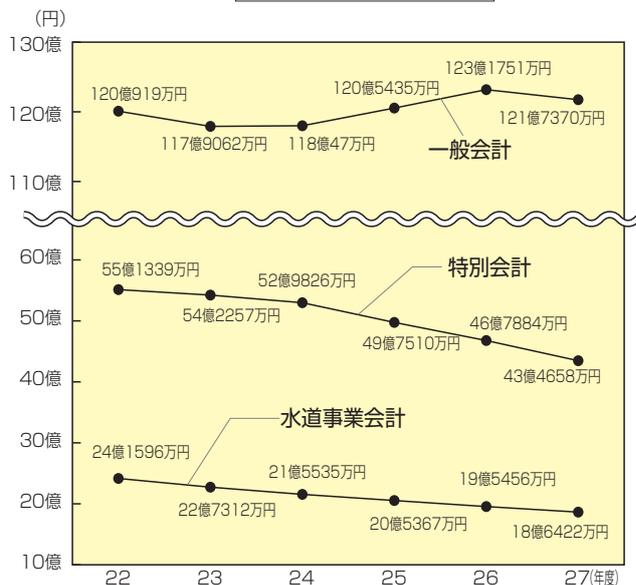
目的別歳出の構成比



性質別歳出の構成比



市債残高グラフ



## 【歳入】

市税のうち、個人市民税及び法人市民税は国の経済対策等の効果により増加、また、固定資産税は地価の下落、評価替などの影響により減少する見込みです。市税は平成19年度をピークに減少を続け、ピーク時と比較すると11億5,000万円も減少しているため、一般財源の確保が厳しい状況が続いています。

※用語解説はP20をご覧ください。

## 【歳出】

民生費は、障害者自立支援事業や生活保護費などの扶助費、介護保険や国民健康保険特別会計への繰出金の増加などにより、1億800万円の増となり、予算総額の3分の1以上を占めている状況です。

一方、投資的経費は片岡地区市街地整備事業や造成宅地滑動崩落緊急対策事業などが減少したことにより、約7億7,100万円の大幅な減となっています。

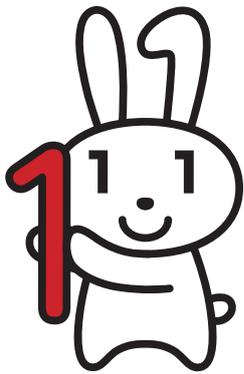
## 戸籍住民基本台帳事務 個人番号カード発行等事業

3,398万円

マイナンバー制度は、住民票を有する全ての方に1人1つの12桁の番号(マイナンバー)を付して、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるものです。

平成27年10月から「通知カード」により個人番号を通知し、平成28年1月からは「個人番号カード」の交付を開始します。

(担当課 市民課)



マイナンバーキャラクター  
マイナちゃん

### 平成27年10月からマイナンバーを一人ひとりにお届けします！

**！** マイナンバー(個人番号)とは、国民一人ひとりが持つ12桁の番号のこと。  
 ・平成28年1月から社会保障・税・災害対策の行政手続きで使用が始まりますので、大切にしてください。  
 ・法人にも13桁の法人番号が指定され、官民問わず自由に使用できます。  
※行政の効率化や国民の利便性向上のため、平成29年1月から行政機関などでの情報連携が順次始まる予定です。  
 ※外国籍でも住民票のある方は対象となります。

メリット

**1** 行政の効率化  
手続きが正確で  
早くなる

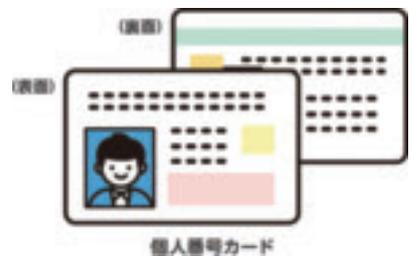
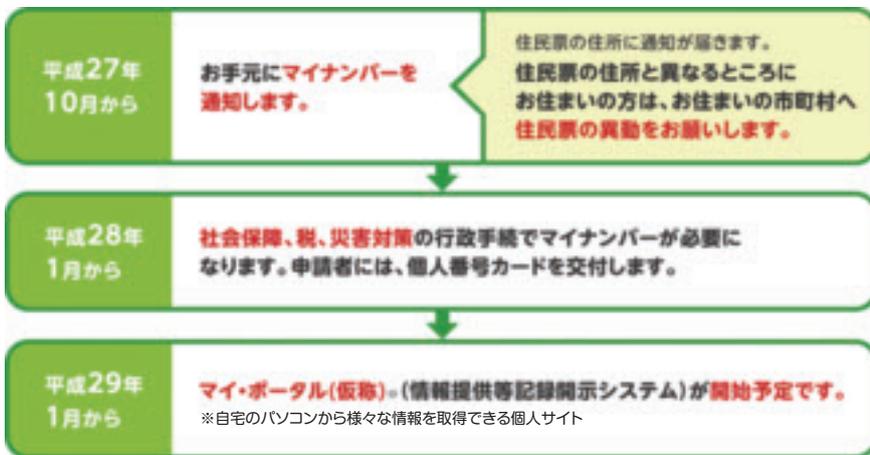
行政機関・地方公共団体での作業の無駄が削減され、手続きがスムーズになります。

**2** 国民の利便性の向上  
面倒な手続きが  
簡単に

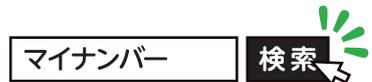
申請時に必要な課税証明書といった資料の添付を省略できるようになります。

**3** 公平・公正な社会の実現  
給付金などの  
不正受給の防止

行政機関が国民の所得状況などを把握しやすくなり、不正受給を防止できます。



マイナンバー制度のお問い合わせは  
0570-20-0178  
平日9:30～17:30(土日祝、年末年始を除く)



## 片岡地区市街地整備事業

3億4,482万円

片岡駅の東口と西口を往来できる自由通路の設置及び橋上化駅舎整備等により、通勤、通学者や駅利用者などの利便性の向上や片岡地区の賑わいを創設することを目的としています。

橋上駅舎及び東西自由通路は、平成27年3月より供用開始しており、今年度は西口広場の整備、アクセス道路の舗装、駐車場の整備、トイレの整備を行います。

(担当課 都市建設課)



事業名	担当課	内容	事業費
人事給与管理事務	総務課	労務管理システムの導入 電子出勤簿システムにより勤務実態を把握し、職員の健康管理、時間管理意識の向上を図る。	240万円
庁舎管理整備事業		太陽光発電設備、蓄電池整備（4施設） 栃木県グリーンニューディール基金を活用し、公共施設に太陽光発電設備と蓄電池を整備する。 保健センター：太陽光15kw、蓄電池15kw 生涯学習館：太陽光15kw、蓄電池15kw 泉小学校：太陽光10kw、蓄電池10kw以上 片岡小学校：太陽光10kw、蓄電池10kw以上	1億2,300万円
温泉センター施設運営事業	社会福祉課	温泉センター施設改修設計業務、駐車場改修設計業務 施設及び駐車場の改修工事を平成28年度に実施するための設計を行う。	2,036万円
障害者総合支援事業		障がい者福祉計画策定業務 国・県の障がい者福祉計画を踏まえ、矢板市の障がい者の総合的な対策を推進するための指針となる計画を策定する。 （第4次障がい者福祉計画：平成28年4月～平成33年3月）	346万円
生活困窮者自立支援事業		相談支援業務等 複合的な問題を抱える生活困窮者に対して、課題を包括的な相談で把握し、就労等の支援を行いながら、社会的・経済的な自立と生活向上を図る。	1,580万円
介護予防一般高齢者施策事業費	高齢対策課	認知症予防事業（簡易検査、予防教室の開催） 認知症検査を行い、認知症の早期診断、早期治療、また、認知症予防に繋げる。 検査対象：65歳以上（9,000人）、希望者見込み4,500人 検査結果説明会：1,350人見込み（受検者の30%）	1,514万円
子育て支援医療費助成事業	子ども課	次のページ参照	1,500万円
子育て支援事業			70万円
民間保育所運営補助事業			10万円
母子保健事業			3万円
環境保全事業	くらし安全環境課	環境文化都市やいた創造会議の設立 環境基本計画に掲げられた取り組みを実現していくために、市民、市民団体、事業者からなる「環境文化都市やいた創造会議」を設立し、取り組みを推進する。	20万円
県単農道整備事業	農業振興課	立足地区（改良舗装L=670m） 農業経営の合理化、農作業の効率化を図るため、立足地区の農道整備を行う。	1,941万円
塩田ダム管理事業		県営基幹水利施設ストックマネジメント事業（H27～H29） 塩田ダムは建設後12年が経過し、施設（電気・機械設備）の老朽化が進んでいることから、ダムの長寿命化を図るために順次改修を行う。	2,500万円
土地改良管理事業		山田土地改良区水利施設改修事業補助金 土地改良区施設の機能保持のため、水路の改修事業に対し補助を行う。	46万円
団体営基盤整備促進事業		安沢地区（取水施設：堰塗装）・富田地区（農道・水路整備） 生産性の向上、農業経営の安定を図るとともに、担い手への農地利用を促進し、地域の営農体制の確立を図る。	3,701万円
地籍調査事業		乙畑Ⅵ地区 新規調査地区として、乙畑Ⅵ地区（0.32km <sup>2</sup> ）に着手する。	1,730万円
観光PR事業	商工林業観光課	泉地区活性化事業 観光資源である八方ヶ原を活用し、交流人口の増加を図る。 例：情報誌の発行、ネット配信、イベント開催	270万円
土木総務管理事務	都市建設課	スマートIC調査検討業務 東北自動車道スマートIC新設に係る調査検討の業務を行う。	3,000万円
道路橋りょう総務管理事務		橋りょう点検業務（約50橋） 道路法改正に伴う、市道の橋りょう点検業務を行う。	6,750万円
道路新設改良事業（交付金事業）		乙畑・越畑1号線（設計業務）・扇町・荒井1号線（設計業務） 平成28年度以降に補助事業で舗装修繕工事を実施する予定の2路線の設計業務を行う。	380万円
橋りょう維持事業		橋りょう補修工事（2橋） 老朽化し、改修工事が必要な2橋（上伊佐野地内の晴虹橋・石関地内の大川橋）を実施する。	2,800万円
市営住宅整備事業		長寿命化改修工事（高倉住宅2号棟） 老朽化した中層住宅を順次改修する。 平成27年度は高倉住宅2号棟（平成26年度は高倉住宅1号棟）	7,900万円
木幡土地区画整理事業	換地計画書作成業務等 平成27年中に換地処分を行うための換地計画書を作成する。	2,970万円	
教職員研修事業	教育総務課	かがやく子ども学習支援事業 学習支援を希望する児童生徒を対象に、基礎学力向上を図るための学習講座を行う。	50万円
中学校施設大規模改修事業	片岡中学校体育館天井改修 片岡中学校体育館の天井は吊天井式であるため、安全確保の観点から天井の改修を行う。	2,600万円	
人権教育推進事業	生涯学習課	人権教育総合推進地域指定に伴う事業実施 人権教育の充実と人権啓発の推進のため、人権教育総合推進地域の県指定を受け実施する。 （人権教育総合推進地域会議の設置・推進協力校の指定・人権啓発の推進）	90万円
水処理センター管理費	上下水道事務所	下水汚泥減量化事業 農業集落排水事業で実績のある「特殊酵素材」による下水汚泥減量システムを導入し、維持管理経費の縮減を図る。	1,650万円

# 子育て環境日本一を目指して

矢板市では、次世代を担う子どもたちを社会全体で大切に育てるまちづくりを目指しています。そのため、仕事と育児の両立を支援するファミリーサポートセンターや、18歳までのお子さん・妊産婦への医療費助成、子育て世代に対する各種相談業務や保健師等の訪問、保育

所・園への助成など、医療・保育・教育環境の充実に努めています。

今回はその中でも、今年度の新規事業や拡大する事業など、いくつかご紹介します。

問い合わせ/子ども課 ☎(44)3600

新規

## 矢板市パパママ応援サイト 「ともな〜る」運営事業

167万円

矢板市パパママ応援サイト



少子化対策強化を目的とし、「結婚・妊娠・出産・子育て」の切れ目ない支援を行うため、地域の情報を一元化するインターネットサイトを運営することで、情報交換・情報提供を行います。結婚(将来パパママ)、妊娠・出産(もうすぐパパママ)、子育て(現在パパママ)を応援します。



\*「ともな〜る」は、「友になる・つながる」と「ともなりくん」をかけています。

【サイトコンテンツ】



婚活・結婚に関するお知らせやアドバイスなど



妊娠・出産に関するお知らせやアドバイスなど



子育てに関するお知らせやアドバイス、施設情報など



矢板市や企業からのお知らせ、企業への要望など



利用者同士の情報交換、市への質問など



どなたでも利用できますので、パソコン、スマートフォン等からぜひご利用ください。  
<http://kosodate.city.yaita.tochigi.jp/>

拡大

## 第三子以降保育料無料化

429万円

第三子以降の子ども私立幼稚園等入園に伴う保護者の経済的負担を軽減することを目的に保育料の無料化を実施しています。

新制度施行に伴い、**特定地域型保育事業所を利用する3号認定こどもが対象**に加われました。

※第二子についても、施設型給付費・地域型保育給付を受けている場合は、国の基準どおりに半額になります。



地域型保育事業とは保育園より少人数の単位で、就労などのため家庭で保育のできない保護者に代わって保育する事業のことです。

拡大

## こども医療費助成事業

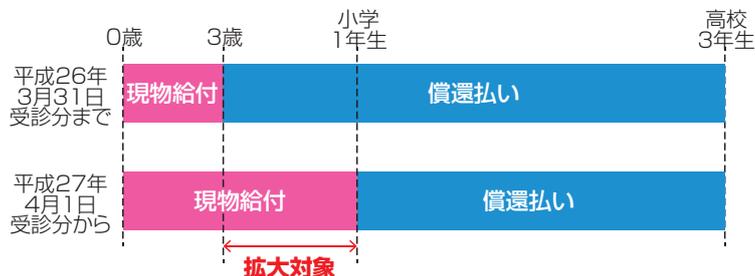
1億2,168万円

子どもの医療費を助成することにより、疾病の早期発見と治療を促進し、子どもの健康の向上と福祉の増進を図ります。

助成対象は18歳到達後の最初の3月31日までの間にある子どもの医療費の保険対象分です。



これまで、現物給付(医療機関窓口での支払いが不要)の対象は3歳未満まででしたが、この対象が**未就学児まで拡大**となりました。  
(平成27年4月1日受診分から)



## 子育て支援事業

1,143万円

子育ての不安・悩みの軽減を図るため、家庭相談員・育児支援訪問支援員が、家庭における適正な児童養育の相談・指導などを行い、援護を必要とする子どもと家庭への支援を行います。

今年度は出産・育児に関する基本情報、行政サービスを分かりやすくまとめた「子育て応援ブック・改訂版」を作成します。



拡大

## 育児教室

4万円

主に初めて育児をする方を対象に実施し、育児に関する基本的知識の普及を図り、育児力の向上を図ります。また、育児に関する不安や悩みの相談に応じることで、母子保健相談、支援を実施します。

現在、子どもの健康管理や事故防止、離乳食の進め方などを全4回のコースで実施しており、より理解を深めてもらうため、**全5回にコースを拡大**して実施します。

新規

## ことばの相談事業

3万円

ことばの発達上指導が必要な幼児に対し、専門的なことばの発達指導とその保護者に助言を行い、健やかなことばの発達を促します。

ことばが遅い、コミュニケーションが取りづらい、発音

が正しくできない、吃音等の心配を持つ子どもとその保護者を対象に、言語聴覚士による相談を実施します。

## 病児保育広域連携事業

10万円

多様な保育ニーズに応えるため、病気中の子どもを対象とした病児保育の広域連携事業に参加します。

済生会宇都宮病院において4月からオープンする病児保育施設に、矢板市に居住するこどもを預けること

ができるようになりました。

※病後児保育事業については、引き続きぴっころ保育園で実施します。

# 第1章 いつまでも健康でいきいきしているまちづくり

第1章

## ①保健・医療環境の充実

### 子ども予防接種事業

7,383万円

◎7,383万円

子ども課

子どもの定期予防接種の実施や法定外予防接種として、ロタとインフルエンザ（中3・高3）の予防接種費用を助成します。

### 成人予防接種事業

1,947万円

◎1,947万円

健康増進課

成人の各種予防接種として、インフルエンザや高齢者用肺炎球菌ワクチン等の予防接種費用を助成します。

第2章

### 健康増進事業

4,827万円

◎96万円 ◎186万円

◎4,544万円 ◎1万円

健康増進課

生活習慣病の予防のため、各種がん検診、地域における各種健康教室、水中運動教室、自殺予防対策のための心の健康相談などを実施します。



水中エアロビクス教室のようす

### 国民健康保険事業

44億8,270万円

◎9億553万円 ◎2億1,547万円

◎9億6,122万円 ◎24億48万円

健康増進課

主な内容

療養諸費等給付事業	23億17万円
高額療養費支給事業	3億3,740万円
出産育児一時金支給事業	1,680万円
葬祭費支給事業	350万円
後期高齢者支援金等拠出事業	5億4,931万円
介護納付金納付事業	2億5,576万円
共同事業拠出金等拠出事業	9億1,675万円
保健衛生普及事業	108万円
疾病予防事業	823万円
特定健康診査等事業	1,937万円

第3章

### 地域医療支援事業

1,923万円

◎1,923万円

健康増進課

救急医療対策、休日当番医、塩谷地区おとな・こども夜間診療室などにかかる経費です。

### 後期高齢者医療事業

3億3,620万円

◎100万円

健康増進課

主な内容

一般管理費	255万円
後期高齢者医療広域連合納付金	3億1,201万円
後期高齢者健診事業	1,515万円

第4章

## ②子育て環境の充実

### 子育て支援給付事業(やいたみらいっ子誕生祝金)

390万円

◎390万円

子ども課

第二子以降の誕生に、祝い金3万円を支給することで、少子化対策と児童の健全な育成を図ります。

### 児童館活動支援事業

2,627万円

◎2,612万円

◎15万円

子ども課

健全な遊びを通して子どもの健康を増進し、心を豊かにすることを目的とした児童館（矢板、東、片岡）の活動支援を行います。

第5章

### 子育て支援事業

1,143万円

◎164万円

◎979万円

子ども課

家庭相談員・育児支援家庭訪問支援員が、子育ての不安・悩みの軽減を図るため、家庭における適正な児童養育の相談・指導などを行い、援護を必要とする子どもと家庭への支援を行います。

### 学童保育館活動支援事業

1,697万円

◎1,118万円

◎579万円

子ども課

放課後、家庭での保育が困難な児童に、健全な遊びと学習の場を提供する公設学童保育館（矢板、矢板第二、東、川崎、泉、片岡、安沢）と民設学童保育館の運営費です。

第6章

第7章

**子育て支援医療費助成事業**

**1億3,068万円** 健康増進と疾患の早期発見を目的として、18歳までの子どもと妊産婦を対象に、保険診療分の一部負担金を助成します。

◎5,209万円  
◎7,859万円

**子ども課**

**ひとり親家庭医療費助成事業**

**1,309万円** 市内在住で、満18歳に達した年度末までの子どもを養育するひとり親家庭を対象に、保険診療分の一部負担金を助成することで、健康の向上に寄与し、経済的負担の軽減を図ります。

◎603万円  
◎706万円

**子ども課**

**ファミリーサポートセンター事業**

**233万円**

◎66万円 ◎66万円  
◎101万円

**子ども課**



クリスマス交流会

「子育ての支援をしてほしい人」(依頼会員)と「子育ての手助けをしたい人」(提供会員)がそれぞれ会員となり、お互いに助け合いながら、地域で子育ての支援をしようとするものです。

**子育て世帯臨時特例給付金事業**

**1,700万円** 消費税引き上げに伴う子育て世帯への経済的影響を緩和するため、昨年度に引き続き、給付金を支給します。

◎1,700万円

**子ども課**

**施設型等給付費**

**7億8,817万円** 子どもたちがより質の高い教育・保育が受けられるよう、幼稚園や保育園などに対し、給付費を支給します。

◎2億4,858万円 ◎1億5,528万円  
◎2億8,713万円 ◎9,718万円

**子ども課**

**民間保育所運営補助事業**

**9,178万円** 民間保育所へ延長保育、一時保育、病後児保育などの特別保育事業にかかる補助をします。

◎4,374万円  
◎4,780万円 ◎24万円

**子ども課**

**幼稚園振興事業**

**4,906万円** 幼児教育の振興や保護者の経済的負担を軽減するため、私立幼稚園の設置者と園児の保護者に各種補助金を交付します。

◎445万円  
◎4,461万円

**子ども課**

**公立保育所施設運営事業**

**7,538万円** 市内の公立保育所(泉・片岡)の保育業務と施設管理を行います。

◎100万円  
◎5,075万円  
◎2,363万円

**子ども課**

**母子保健事業**

**3,658万円** 3カ月児健診や4カ月児健診などのほか、妊婦健康診査費の助成や少子化対策として不妊治療費を助成します。

◎74万円  
◎135万円  
◎3,449万円

**子ども課**

**子育て短期支援事業**

**10万円** 保護者が疾病などにより、児童の養育が一時的に困難になった場合に、児童養護施設などで短期間お預かりすることで、子どもと家族への支援を行います。

◎3万円  
◎2万円  
◎5万円

**子ども課**

**母子福祉事業**

**991万円** 母子・父子自立支援員がひとり親家庭の父母の就業、資格取得の支援などの相談・指導を行い、生活の安定を支援します。

◎448万円  
◎93万円  
◎450万円

**子ども課**

### ③地域福祉の充実

#### 温泉センター施設運営事業

4,566万円

国4,487万円

他79万円

社会福祉課

市民に交流と憩いの場を提供し、福祉と健康の増進を図るために城の湯温泉センターの管理運営や改修工事のための設計業務を委託します。

#### 地域福祉体制強化事業

2,388万円

国2,388万円

社会福祉課

手話講習会、リフト付きワゴン車活用推進事業、心配ごと相談などを行います。

#### 生活困窮者自立支援事業

1,580万円

国1,060万円

国520万円

社会福祉課

現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者に生活困窮者自立相談支援事業の実施、生活困窮者住宅確保給付金の支給等により、生活困窮者の自立の促進を図る事業を行います。

#### 生活保護者援護事業

5億5,000万円

国4億1,205万円

国2,460万円

国1億1,335万円

社会福祉課

生活に困窮する世帯の最低限度の生活を保障するための経済援護を行います。必要な指導や指示を行い、自立した生活を送れるよう相談や助言をします。また生活に困っている中国残留邦人の方に、生活保護に変わる支援給付を行います。

### ④高齢者福祉の充実

#### 介護保険事業

24億7,480万円

国5億4,038万円 県3億4,154万円 国571万円 他15億8,717万円

高齢対策課

主な内容

- 居宅介護サービス給付費 8億2,810万円  
要介護認定の在宅者が利用する、居宅サービスの保険給付に要する経費です。
- 地域密着型介護サービス給付費 2億5,480万円  
要介護認定の在宅者が利用する、地域密着型サービスの保険給付に要する経費です。
- 施設介護サービス給付費 8億4,810万円  
要介護認定者の施設入所者が利用する、介護サービスの保険給付に要する経費です。
- 居宅介護サービス計画給付費 1億30万円  
要介護認定者が介護サービスを受けるための、居宅介護サービス計画作成に要する経費です。
- 介護予防サービス給付費 5,510万円  
要支援認定の在宅者が利用する、居宅サービスの保険給付に要する経費です。

## フリースペースに集まろう

「フリースペース」は、障がい者やその家族、障がい者福祉やボランティアに興味がある方など、気軽に集まり、安心して交流することができる場所です。事前申し込みは不要ですので、直接会場にお越しください。

参加費／無料

開催日時／

- 月1回、13:00～16:00で開催します。
- 4月15日(水)、5月14日(木)、6月12日(金)
- 7月16日(木)、8月12日(水)、9月11日(金)
- 10月15日(木)、11月13日(金)、12月16日(水)
- 平成28年1月13日(水)、2月12日(金)、3月10日(木)

場所／矢板公民館 団体事務局



主催／矢板市地域自立支援協議会ケア部会  
(事務局：社会福祉課)

問い合わせ／社会福祉課 ☎(43) 1116

**高齢者社会参加促進補助事業****1,238万円**

◎69万円

◎1,169万円

**高齢対策課**

高齢者の社会参加の促進や超高齢社会の基盤強化を図るため、シニアクラブやシルバー人材センターに補助します。

**在宅介護支援サービス事業****1,037万円**

◎1,037万円

**高齢対策課**

一人暮らしの高齢者に緊急通報用の機器を貸与したり、高齢者を介護している家族の経済的な負担の軽減を図るため、手当を支給したりすることで、在宅生活を営める環境をつくれます。

**敬老祝賀事業****1,226万円**

◎1,226万円

**高齢対策課**

長寿を祝う慶賀訪問や、各行政区で開催している敬老会への助成を行います。

**老人保護措置事業****2,148万円**

◎2,057万円

◎91万円

**高齢対策課**

身体状況、家族状況などの理由で、在宅生活が困難な高齢者を養護老人ホーム等に保護することで、高齢者とその家族の福祉の向上に寄与します。

**⑤障がい者福祉の充実****障がい者給付等支援充実事業****8,821万円**

◎3,972万円 ◎1,533万円

◎3,316万円

**社会福祉課**

身体障がい者更生医療給付、特定疾患福祉手当支給、重度心身障がい児者介護手当支給、特別障がい者手当等支給を実施し、医療費負担の軽減、経済的援助をします。

**重度心身障がい者医療費助成事業****4,628万円**

◎2,310万円

◎2,318万円

**社会福祉課**

重度心身障がい者が必要とする医療に対し、医療費の本人負担額を支給することで、医療費負担の軽減、経済的援助をします。

**障がい者総合支援事業****4億5,325万円**

◎2億1,784万円

◎1億1,038万円

◎1億2,503万円

**社会福祉課**

障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス、障がい児通所給付、地域生活支援事業等に要する経費です。

**障がい者福祉タクシー事業****820万円**

◎820万円

**社会福祉課**

利用対象者の社会生活への進出を図るため、タクシーの基本料金分を助成するタクシー券(障がい者月4枚、高齢者月2枚)を交付し、外出時の負担を軽減します。

**きらきらサロンへ行こう**

「きらきらサロン」は、高齢者やその他支援の必要な方々の閉じこもりや地域での孤立の防止などを目的とする「誰でも気軽に集える場所」のことです。

平成26年度から事業を開始し、9カ所(自治公民館等7カ所、民間施設2カ所)のサロンが開設されています。

サロンの内容は、お茶を飲みながらのおしゃべり会、シルバーサポーター\*との体操やレクリエーションなど各サロン様々です。ご希望に応じて、市から保健師、栄養士、歯科衛生士などを派遣し、講話も実施します。

きらきらサロンの実施を希望する団体は、高齢対策課までお問い合わせください。

問い合わせ／高齢対策課 ☎(43) 3896



\*シルバーサポーターとは…  
体操教室等でボランティアとして活躍している方で、市開催の養成講座や研修会を受講しています。

# 第2章 一人ひとりの笑顔が輝くまちづくり

## ①生涯学習の推進

### 生涯学習機会充実事業

217万円

◎217万円

#### 生涯学習課

ふるさと創年大学などを開催し、学習機会の充実を図るとともに、人材バンクの活用や生涯学習情報誌「まなび」による情報提供を行います。



ふるさと創年大学の様子

### 図書館管理運営事業

4,657万円

◎4,657万円

#### 生涯学習課

図書館の管理運営委託や修繕に行います。

### 市民講座推進事業

188万円

◎188万円

#### 各公民館

矢板・泉・片岡の各公民館と農村環境改善センターで市民講座を開設します。

### 地域コミュニティ推進事業

239万円

◎239万円

#### 生涯学習課

地域のつながりを取り戻すため、地域コミュニティ活性化プラン作成や地域コミュニティ活動に対し、各種支援を行います。

### 地域づくり推進事業

830万円

◎830万円

#### 各公民館

自治公民館の活動支援と新生活運動の補助を行い、地域づくりを支援します。(矢板・泉・片岡の各公民館で実施)

## ②学校教育の充実

### 特色ある学校づくり推進事業

300万円

◎300万円

#### 教育総務課

ICT教育の研究及び充実、花いっぱい運動、表現力の育成などそれぞれの学校や地域の特色を生かした教育活動の展開を行います。



泉小 ミヤコタナゴ保全活動

### 外国語指導助手活用事業

1,950万円

◎1,950万円

#### 教育総務課

市内小・中学校に外国語指導助手を配置し、外国の文化や外国人とのコミュニケーションに興味を持つ児童生徒を育てます。

### 教職員研修事業

171万円

◎25万円

◎146万円

#### 教育総務課

市内教職員を対象に調査研究、研修を実施し、指導技術、指導力向上を高めます。

### 小・中学校一般管理事業

1億2,062万円

◎1億2,048万円

◎14万円

#### 教育総務課

小・中学校の学校運営や、一般管理備品などの整備、泉小と矢板小のスクールバスの運行などを行います。

### 矢板市立学校教職員配置事業

7,569万円

◎7,569万円

#### 教育総務課

小・中学校に非常勤教員を配置し、学習指導の効果を高めます。また泉小・中学校に、市独自に教員を配置し、30人学級を実現するとともに、小中一貫教育の充実を図ります。

### 小・中学校教育振興事業

8,081万円

◎30万円

◎8,051万円

#### 教育総務課

小・中学校での授業が、より円滑に実施できるように支援します。また、教育費の経済的負担の軽減を図るため、就学援助などを行います。

### 小・中学校保健安全事業

2,202万円

◎24万円 ◎2,053万円

◎125万円

#### 教育総務課

児童生徒、教職員の健康の保持・増進を図るための事業を行います。

### 中学校施設大規模改修事業

**2,600万円** 非構部材（天井・照明器具等）の補強改修を行います。今年度は、片岡中学校体育館の天井改修を行います。

◎909万円 ◎1,250万円  
◎441万円

**教育総務課**

### ③市民文化の振興

#### 郷土資料館管理運営事業

**1,013万円** 郷土資料を展示する常設展のほか、企画展や各種体験事業を行います。

◎1,012万円  
◎1万円

**生涯学習課**

#### 矢板武記念館管理運営事業

**377万円**

◎348万円  
◎4万円  
◎25万円

**生涯学習課**

郷土への関心を高めるため記念館を管理運営し、公開します。



### ④生涯スポーツ活動の推進

#### 市民体育祭開催事業

**200万円** 市民体育祭の開催費用です。夏季大会は11競技の球技を、また秋季大会は陸上競技・レクリエーションを中心に開催します。

◎200万円

**生涯学習課**

#### スポーツ教室等開催事業

**127万円** 地域スポーツの振興を図るため、各スポーツ教室などを開催します。

◎127万円

**生涯学習課**

### ⑤青少年健全育成の推進

#### 青少年活動支援事業

**82万円** 子ども会連合会など青少年団体等への支援や地域で活躍する青年リーダーの育成を行います。

◎82万円

**生涯学習課**

### 適応指導教室管理事業

**535万円** 不登校児童生徒の支援施設（チャレンジハウス）の管理を行います。

◎301万円  
◎234万円

**教育総務課**

#### 文化財保護事業

**212万円** 文化財の保存・管理・活用のための事業を行います。

◎212万円

**生涯学習課**

#### ともなり文芸祭り運営事業

**100万円** 文芸の振興を目的として「ともなり文芸祭り」を行います。

◎100万円

**生涯学習課**

#### 芸術文化振興事業

**91万円** 芸術・文化活動を支援し、芸術文化の振興を図ります。

◎91万円

**生涯学習課**

#### 矢板たかはらマラソン大会開催事業

**250万円** 矢板たかはらマラソン大会の開催・運営費用です。昨年は1,848人（H26.11.9の申込者数）の参加がありました。

◎150万円  
◎100万円

**生涯学習課**

#### 生涯スポーツ推進事業

**320万円** スポーツ推進委員、社会体育推進員の資質向上とニュースポーツ体験などの開催事業費です。また、関東・全国大会に出場する本市関係の団体・個人の選手に対し、スポーツ奨励のため交付金を交付します。

◎320万円

**生涯学習課**

#### 成人式開催事業

**57万円** 新成人主体の実行委員会を組織し、自ら企画・運営する成人式を支援します。

◎57万円

**生涯学習課**

# 第3章 豊かな自然を大切にすまちづくり

## ①循環型社会の形成

### 新エネルギー利用促進事業

1,500万円

⑨1,500万円

住宅用太陽光発電システムを設置する市民の方に、設置費の一部を補助します。

くらし安全環境課

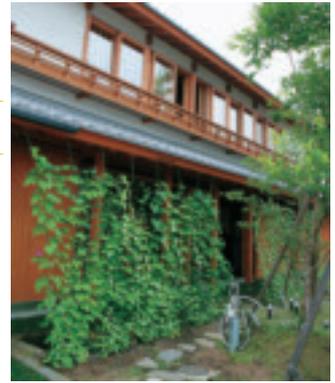
### エコモデルハウス運営事業

562万円

⑨562万円

くらし安全環境課

エコモデルハウスの管理および運営を行います。



### 環境保全事業

30万円

⑨30万円

環境保全に配慮し、環境基本計画の推進、環境学習を実施します。

くらし安全環境課

## ②生活衛生環境の向上

### 塩谷広域環境施設建設事業

2,249万円

⑨2,249万円

次期環境施設整備事業に向けた、施設建設、施工管理業務委託などを行います。

※塩谷広域行政組合負担金

くらし安全環境課

### ごみ収集事業

1億301万円

⑨5,511万円

⑩4,790万円

くらし安全環境課

一般家庭から排出されるごみや資源物（ビン、缶、新聞、ダンボールなど）の収集運搬と地域の環境衛生向上を図ります。

## リサイクルにご協力ください

### 蛍光管リサイクル

蛍光管はガラス・水銀・その他金属などに分別され、そのほとんどが再利用できます。

回収場所／市役所1階 生活環境課窓口

時間／平日 8:30~17:15

出す際の注意／

購入時や交換時の箱に入れて出してください。

※箱が無い場合は新聞紙等に包んで出してください。

出せるもの	出せないもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環型蛍光管</li> <li>・直管型蛍光管</li> <li>・電球型蛍光管</li> <li>・スパイラル型蛍光管</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・割れたもの(不燃ごみで出してください)</li> <li>・蛍光管以外の照明器具</li> <li>・(白熱球・LED電球・グロー球など)</li> <li>・お店や職場で使用されていたもの</li> </ul>

### 小型家電リサイクル

市役所1階および道の駅やいたエコモデルハウスに設置してある回収ボックスにて電化製品を回収しています。

対象品目／

ご家庭で使用されているほとんどの電気や電池で動く電気製品が対象となります。

詳しくはお問い合わせください。



減らそうごみ 生かそう資源  
一限りある資源を大切に

問い合わせ／くらし安全環境課 ☎ (43) 6755

## ③上水道の安定供給

## 水道施設整備事業

**2億2,531万円** 各家庭に水を送るための水道管を敷設したり、水源施設を整備します。  
 企業債1億円  
 自己財源1億2,281万円  
 ④250万円

上下水道事務所

## 水源施設維持管理事業

**1億5,734万円** 安全でおいしい水が出るよう、水源となる施設を管理します。  
 自己財源1億5,734万円

上下水道事務所

## ④生活排水処理の充実

## 公共下水道水処理センター管理事業

**1億5,727万円** 生活環境の向上や河川等の水質保全のため、家庭等から排出される下水を適切に処理するための水処理センターを管理運営します。  
 使用料1億5,727万円

上下水道事務所

## 公共下水道管渠（下水管）築造事業

**1億3,296万円** 衛生的で快適な住環境の向上と河川等の水質保全のため、下水道管の整備や汚水柵設置を行います。  
 ④5,300万円 ④6,760万円  
 受益者負担69万円 ④1,167万円

上下水道事務所

## 合併処理浄化槽設置補助事業

**3,012万円** 10人槽以下の浄化槽を新たに設置または汲み取りもしくは単独処理浄化槽を廃止し、合併処理浄化槽を設置する市民の方に設置費の一部を補助します。  
 ④1,000万円 ④330万円  
 ④1,682万円

上下水道事務所

## ⑤河川環境の維持

## 普通河川整備事業

**545万円** 中地内の普通河川（新堀川支流）の改修工事と乙畑地内の普通河川（菅ノ沢川）の詳細設計業務を行います。  
 ④210万円  
 ④335万円

都市建設課

## 管路維持管理事業

**8,691万円** 各家庭に水を送るために使っている水道管が壊れたときに、修理します。  
 自己財源7,392万円  
 繰入金1,299万円

上下水道事務所

## 公共下水道水処理センター建設事業

**1億4,650万円** 適切な運営管理のため、老朽化した施設の改修や機械等の更新を行います。  
 ④7,767万円  
 ④6,870万円  
 ④13万円

上下水道事務所

## 農業集落排水水処理センター管理事業

**1,657万円** 農村地域の生活環境や河川等の水質保全のため、各家庭等からの下水を適切に処理するため水処理センターを管理運営します。  
 使用料1,490万円  
 ④167万円

上下水道事務所

## コリーナ矢板水処理センター管理事業

**1,644万円** コリーナ矢板地域の生活環境や河川等の水質保全のため、各家庭等からの下水を適切に処理するため水処理センターを管理運営します。  
 使用料1,361万円  
 ④283万円

上下水道事務所

# 第4章 安心・安全で快適に暮らせるまちづくり

## ①定住基盤整備の推進

### 片岡地区市街地整備事業

**3億4,482万円** 片岡駅を中心とした周辺地域の活性化を図るため、片岡駅西口整備などを行います。  
国 1億6,545万円  
市 1億4,280万円  
県 2,062万円 他 1,595万円

都市建設課

### 木幡土地区画整理事業(特別会計)

**1億9,320万円** 木幡土地区画整理事業の本換地業務や借入金の返済を行います。  
国 20万円  
他 1億9,300万円

都市建設課

### 市営住宅整備事業

**8,442万円** 市営住宅の計画的な施設修繕工事等を行います。  
国 3,950万円  
市 3,950万円 他 542万円

都市建設課

### 地籍調査事業

**2,275万円** 土地一筆ごとに所在、地番、地目、境界の調査と土地登記簿に記載された所有者に関する確認を行います。併せて境界の測量や面積の測定を行い、地図と簿冊を作成します。平成27年度は、乙畑地区を実施します。  
国 1,470万円  
県 795万円 他 10万円

農業振興課

## ②道路網の整備の推進

### スマートIC整備事業

**3,000万円** スマートIC設置のための調査検討等を行います。  
他 3,000万円

都市建設課

### 地域活動推進事業

**393万円** 道路の里親制度(市内にある身近な道路の親がわりになり、美化清掃する活動)の推進や、道路などの修繕整備をしていただける行政区などへ、資材提供などの支援を行います。  
国 393万円

都市建設課

### 道路新設改良事業(市内全域)

**2,466万円** 市道境林・木幡9号線の道路整備工事および電柱移設を行います。  
市 1,890万円  
県 576万円

都市建設課

### 道路新設改良事業(交付金事業)

**1,738万円** 道路舗装修繕工事(中・安沢1号線)や道路舗装修繕設計業務(乙畑・越畑1号線、扇町・荒井1号線)を行います。  
国 759万円  
市 550万円  
県 429万円

都市建設課

### 高倉通り整備事業

**1,298万円** 高倉通りの交通安全施設整備に伴う物件の調査や用地取得などを行います。  
国 1,298万円

都市建設課

### 市道維持管理事業

**3,025万円** 側溝整備や道路施設の清掃、街路樹などの剪定、害虫駆除を行うほか、補修補強、改善を行います。  
国 2,525万円  
他 500万円

都市建設課

### 道路橋りょう総務管理事務

**7,385万円** 市道の橋りょうの安全確認のための点検等を行います。  
国 2,612万円  
県 4,773万円

都市建設課

### 橋りょう維持事業

**3,539万円** 橋りょう補修工事(晴暁橋・大川橋)や橋りょう補修測量設計積算等業務(鹿島橋・八戸時橋・柿ノ木橋・中橋)を行います。  
国 1,672万円  
市 1,230万円  
県 637万円

都市建設課

## ③公共交通機能の充実

## 市営バス運行事業

3,817万円

●16万円  
●780万円  
●他3,021万円

移動に不便な地域の利便性向上のため、市営バスを運行します。

総務課

## 市営駐車場管理事業

464万円

●464万円

市営駐車場（4カ所）・駐輪場（4カ所）の維持管理を行います。

都市建設課

## ⑤日常生活の安心の確保

## 消防団活動事業

3,744万円

●3,694万円  
●50万円

消防団員の報酬や出勤旅費、装備品の購入、訓練など消防団の活動に要する経費です。

くらし安全環境課

## 防災活動推進事業

1,603万円

●1,603万円

防災行政無線などの防災設備の維持管理、非常食の備蓄などを行います。

くらし安全環境課

## 地域安全活動推進事業

1,282万円

●1,282万円

防犯灯の設置と電気料の一部補助や防犯カメラの維持管理を行います。

くらし安全環境課

## 急傾斜地崩壊対策事業

1,050万円

●890万円  
●3万円  
●他157万円

倉掛地内の急傾斜地崩壊対策工事を実施することにより、地域住民が安心して暮らせるようにします。(事業主体：栃木県)

都市建設課

## バス路線対策事業

350万円

●350万円

矢板駅～新高徳駅間を生活交通路線として、矢板市・日光市・塩谷町の3市町が乗入率により負担金を出し合い委託バスを運行します。

総合政策課

## ④公園整備の推進

## 都市公園維持管理事業

2,700万円

●2,608万円  
●92万円

憩いの場、安らぎの場として、都市公園を安心・安全に利用してもらうため、施設や樹木などの維持管理を行います。

都市建設課

## 消防施設等整備事業

3,222万円

●2,660万円  
●562万円

消防器具置場の建て替え、消防車両の更新など、消防施設を整備します。

くらし安全環境課

## 消費者行政対策事業(消費生活センター)

304万円

●101万円  
●148万円  
●他55万円

さまざまな消費生活問題の相談や、トラブルに巻き込まれないための正しい消費生活情報を提供するなど、消費生活の向上と安全を推進します。また多重債務者の相談も受け付けます。

くらし安全環境課

## 交通安全対策管理事業

1,272万円

●27万円  
●1,196万円  
●他49万円

各世代に合わせた交通安全教室・出前講座、年4回の交通安全運動などの啓発活動を行ったり、児童・生徒が交通事故にあわないよう交通指導員を配置しています。

くらし安全環境課

## 造成宅地滑動崩落緊急対策事業

3,154万円

●802万円  
●2,352万円

東日本大震災を原因とした地盤の滑動崩落対策箇所(ハッピーハイランド住宅団地、ロビンシティー住宅団地、日拓住宅団地)において、道路、擁壁等の復旧工事を行います。(平成27年度事業完了)

都市建設課

# 第5章 活力と活気にあふれるまちづくり

## ①商業・サービス業の振興

### やいたブランド認証事業

51万円

⑧51万円

商工林業観光課

市内にある優れた農林水産物や商品を「やいたブランド」として認証し、また新たなブランド開発などに関する支援を行い、地域経済の活性化と市のイメージアップを図ります。

### 商業等活性化支援事業

1,865万円

⑧1,865万円

商工林業観光課

商店街ににぎわいをつくりだす事業へ補助金を交付し、市内における商業の活性化を図ります。また後継者育成支援をするための補助金や、地場産業のPRを促進する補助金を交付します。

## ②工業の振興

### 企業誘致推進事業

5,671万円

⑧5,671万円

商工林業観光課

企業の立地促進を図るため、企業誘致推進員からの情報収集、企業訪問、企業を対象とした各種イベントにおけるPR活動や企業に対する各種奨励金の交付などを行います。

### 中小企業振興資金貸付事業

2億3,744万円

⑧132万円

⑨2億3,612万円

商工林業観光課

中小企業の育成振興を図るため、運転資金や設備資金を融資します。市内金融機関に資金（原資）を預託し、融資を行います。

## ③農業の振興

### 多面的機能支払交付金事業

5,856万円

⑧4,375万円

⑧1,481万円

農業振興課

平場（平地）地域における農業農村の資源や環境の維持・保全を図るため、集落などの単位で取り組む活動に対して支援を行います。

### 安全安心米づくり補助事業

5,400万円

⑧5,400万円

農業振興課

農作物の放射性物質の吸収を抑制するため、カリ肥料の施用に対して支援を行います。

### 農業公社運営費交付事業

1,709万円

⑧1,709万円

農業振興課

農地の貸し借り（農地利用集積円滑化事業）などの農業経営改善のための事業を行う農業公社に、交付金を支給します。

### 道の駅管理事業

614万円

⑧614万円

農業振興課

「道の駅やいた」の管理・維持事業です。農産物直売所や農村レストランなどが入る「つつじの郷交流館」の維持管理を行い、利用者に質の高いサービスを提供します。

### 農業経営基盤強化促進対策事業

2,539万円

⑧2,509万円

⑧30万円

農業振興課

地域の中心となる経営体や、新規就農、農地の集積に協力した農業者への支援を行います。

### 八方ヶ原牧場管理事業

507万円

⑧430万円

⑨77万円

農業振興課

健康で丈夫な牛を育てたり、畜産農家の省力化を図るために、八方ヶ原牧場の管理運営を行い、畜産の振興を図ります。

### 県営中山間地域総合整備事業（高原地区）

5,261万円

⑨3,650万円

⑧17万円

⑧1,594万円

農業振興課

農業・農村の活性化を図るため、中山間地域総合整備事業を実施します。

### 団体営基盤整備促進事業

3,700万円

⑨1,850万円 ⑧554万円

⑨810万円 ⑧276万円

⑨210万円

農業振興課

生産性の向上・農業経営の安定を図るとともに、担い手への農地利用集積を促進し地域の営農体制の確立を図ります。

### 県単農道整備事業

1,940万円

市1,220万円

県582万円

国138万円

農業振興課

農業経営の合理化及び農作業の効率化を図るため、小規模農道の整備を図ります。

### 環境保全型農業直接支援事業

607万円

県457万円

国150万円

農業振興課

環境保全に効果の高い営農活動の普及推進を図るため、環境保全型農業に取り組む農業者を支援します。

## ④ 林業の振興

### 元気な森づくり事業

293万円

県293万円

商工林業観光課

民家の周辺に残る里山林を整備し、明るく安全な森林をつくります。



### 中山間直接支払事業

1,506万円

県1,095万円

国411万円

農業振興課

中山間地域(泉地区)では、耕作条件が不利な場所の耕作放棄などで、水源機能や土壌浸食防止などの機能低下が心配されます。集落協定を結び、対象地区内で機能を確保する活動費用を、交付金として支給します。

### 塩田ダム管理事業

3,441万円

市900万円

県2,541万円

農業振興課

農業用水を確保するために造られた塩田ダムの施設管理と、ダム周辺の公園などの維持管理を行います。

### 森林整備地域活動支援推進事業

565万円

県424万円

国141万円

商工林業観光課

森林の持つさまざまな機能の持続的発展を図るため、森林境界の明確化の調査や作業道整備などを支援します。

### 森林環境整備事業

922万円

県291万円

国631万円

商工林業観光課

弓張市有林などの下刈りやふるさとの森(城の湯温泉センター西側)の下草刈りなどを行い、森林の整備と多面的活用を図ります。

## ⑤ 観光の振興

### 八方ヶ原交流促進センター管理運営事業

1,624万円

県1,624万円

商工林業観光課

八方ヶ原交流促進センター(山の駅たかはら)の管理運営を行います。

### 八方ヶ原施設運営事業

376万円

県376万円

商工林業観光課

八方ヶ原の公衆トイレなどを維持管理を行います。

### 観光PR事業

954万円

県408万円

国546万円

商工林業観光課

冬に行う矢板、片岡駅前イルミネーションや花火大会の運営支援やアンテナショップなどでのイベント実施など、矢板市の魅力を広く内外にPRし、市のイメージアップを図り、交流人口の増加につなげます。

### 観光協会活動支援事業

70万円

県70万円

商工林業観光課

観光客の誘致や市のイメージアップ、商業活性化にむけて、観光協会に活動資金の一部を補助します。

# 第6章 市民と行政が一体となったまちづくり

第1章

## 行政区活動事業

**1,524万円** 行政区との連携のもと民意の把握に努め、市政の円滑な推進を図ります。  
⑧1,524万円

総務課

## 市民活動助成事業

**50万円** 市民団体が自発的に行う公益性の高い活動に対し、助成金を交付します。1団体上限10万円です。  
⑧50万円

総合政策課

第2章

## 人権対策事業

**76万円** 生活の中の人権に関するさまざまな課題を理解し、また関心が深まるよう、各種啓発活動を推進します。  
⑧3万円 ⑨73万円

くらし安全環境課

## 男女共同参画社会推進事業

**50万円** 誰もが自分らしく生き生きと暮らせる「男女共同参画社会」形成のために、広報紙発行、みんなのつどいの開催等による意識の啓発を図ります。また、女性団体、女性リーダーの育成、支援を行います。  
⑧50万円

生涯学習課

第3章

## ホームページ運営事業

**209万円** 市のホームページ運営（モバイル版を含む）のために必要な、ソフトウェアやプリンター機器の保守などを行います。  
⑧173万円 ⑨36万円

秘書広報課

## 矢板時間配信事業

**600万円** FMとちぎ(RADIO BERRY 76.4FM)で、矢板の旬な情報を発信します。  
⑧272万円 ⑨328万円

秘書広報課

第4章

## 広報やいた発行事業

**787万円** 「広報やいた」や、「広報やいた予算特集号」「市民力かわら版」を発行し、情報提供を行います。  
⑧627万円 ⑨160万円

秘書広報課

## 姉妹都市交流事業

**20万円** 姉妹都市の笠間市（茨城県・昭和55年提携）と行っている、子ども会の社会教育活動やスポーツ活動などの交流に対して補助を行います。  
⑧20万円

総合政策課

第5章

# 第7章 行財政基盤の安定したまちづくり

第6章

## 職員研修事業

**284万円** 行政実務能力の向上や行政課題に対する問題提起能力、政策立案能力の養成などを行うために必要な職員研修を行います。  
⑧284万円

総務課

## 市税等賦課徴収事務

**9,288万円** 主な内容  
⑧7,501万円 市税 7,087万円  
⑨1,787万円 国民健康保険 1,435万円  
介護保険 417万円  
後期高齢者医療保険 349万円

税務課

第7章

## 議会運営事務

**1億3,258万円** 本会議、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会および諸会議の運営、会議録の調製、行政視察の実施、請願・陳情の審査を行います。  
⑧1億3,258万円

議会事務局

## 政務活動事業

**384万円** 市政に関する調査研究のため、議会会派または議員に対し、1人当たり月額2万円を交付します。  
⑧384万円

議会事務局

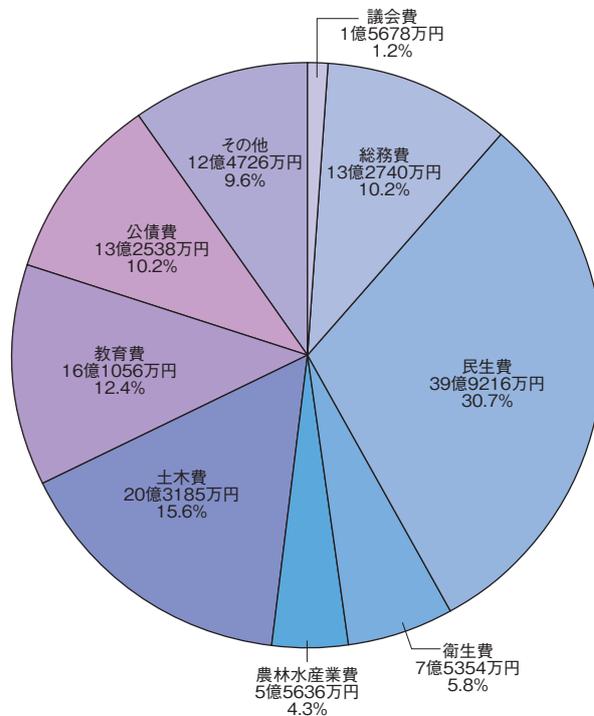
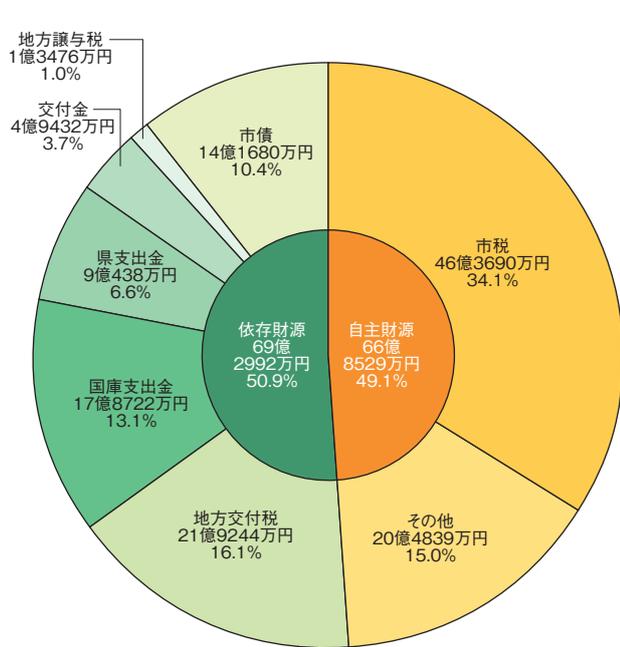
# 矢板市の財政状況について

## 平成25年度 決算状況について

### 一般会計

歳入 136億1,521万円

歳出 130億129万円



### 特別会計

会計名	介護保険	国民健康保険	後期高齢者医療	農業集落排水事業
歳入	23億5182万円	40億2072万円	3億2298万円	9444万円
歳出	22億9294万円	38億6452万円	3億1249万円	8677万円
会計名	公共下水道事業	コロナ矢板排水処理事業	木幡宅地造成事業	
歳入	7億3008万円	1626万円	1億8259万円	
歳出	6億8652万円	1527万円	1億7910万円	

### 企業会計

水道事業	収益的	資本的
収入	7億 971万円	2億9354万円
支出	6億2599万円	5億8048万円

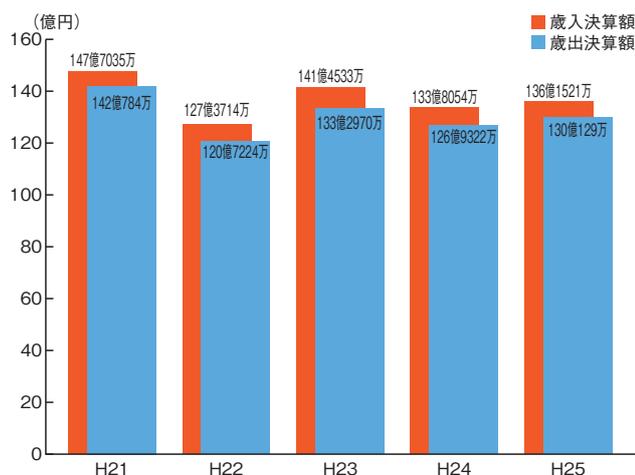
### 用語解説

歳入（自主財源）		衛生費	環境や健康の保持促進などにかかる経費です。
市税	皆さんが矢板市に納める税金です。	農林水産業費	農業・林業・水産業の振興にかかる経費です。
その他	分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、繰入金、繰越金などです。	土木費	道路や橋、公園などの整備管理などにかかる経費です。
歳入（依存財源）		教育費	学校教育や生涯学習の推進などにかかる経費です。
地方交付税	皆さんが国に納める税金の一部で、使い道は自由です。	公債費	市債の返済にかかる経費です。
国庫支出金	皆さんが国に納める税金の一部で、使い道は決められています。	その他	労働費、商工費、消防費、諸支出金などです。
県支出金	皆さんが県に納める税金の一部で、使い道は決められています。	性質別歳出	
交付金	皆さんが国に納める税金の一部で、使い道は自由です。	人件費	職員の給料、議員の報酬などです。
地方譲与税	皆さんが国に納める税金の一部で、使い道は自由です。	扶助費	児童、低所得者や高齢者などの援助をするための給付金などです。
市債	国や金融機関などからの借入金（借金）です。	補助費等	公共団体への補助金などです。
目的別歳出		物件費	さまざまな事業の消耗品や光熱水費、備品の購入、賃借料、委託料などです。
議会費	議会運営や議員の議会活動などにかかる経費です。	繰出金	公共下水道事業特別会計や国民健康保険特別会計など、特別会計を支援するための支出です。
総務費	市役所の運営や広報やいたの発行などにかかる経費です。	その他	維持補修費、貸付金、投資及び出資金、積立金などです。
民生費	高齢者福祉や児童福祉、生活保護などにかかる経費です。	普通建設事業費	道路、公園などの施設を整備するための工事費などです。

# 過去5年間の推移について

## 決算額の推移

～ 対前年比は歳入1.8%、歳出2.4%の増加 ～

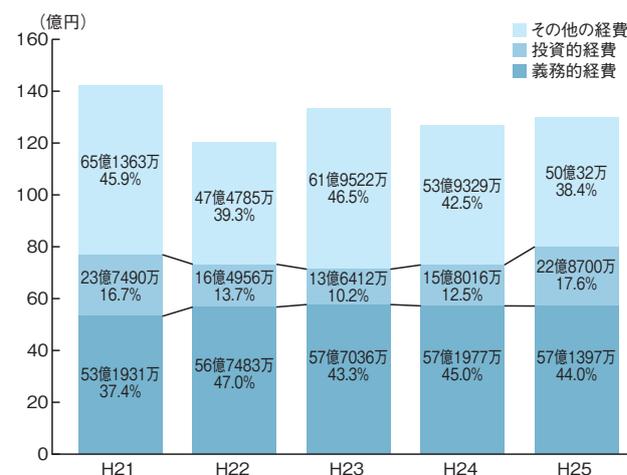


平成25年度は、造成宅地滑動崩落緊急対策事業や片岡地区市街地整備事業などの増加により、歳入・歳出とも増加しました。

歳入は、景気低迷の影響により市税が6年連続の減少となりましたが、補助建設事業の増加により国県支出金が増加しました。

## 性質別経費の推移

～ 投資的経費が約7億円の大幅増加～



歳出は、投資的経費が大幅増となったほか、生活保護費、介護保険特別会計繰出金などの社会保障経費が年々増加しています。

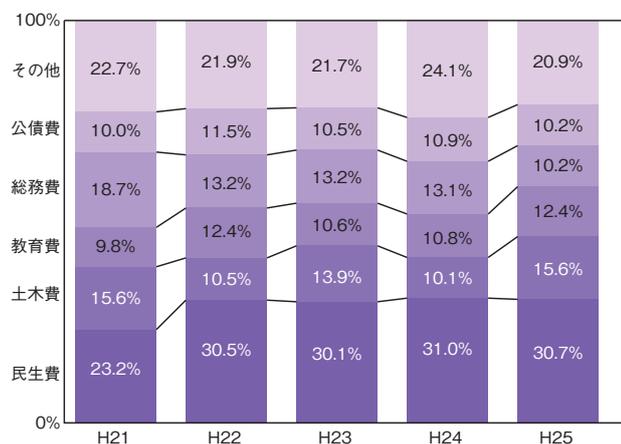
※義務的経費…職員の給与等の人件費、生活保護等の扶助費及び地方債の元利償還金等の公債費です。

支出が義務付けられ、任意に削減できない経費です。

※投資的経費…道路、橋りょう、公園、学校、公営住宅の建設など社会資本整備に要する経費です。

## 目的別歳出の構成比の推移

～ 社会保障経費増により民生費が高止まり ～



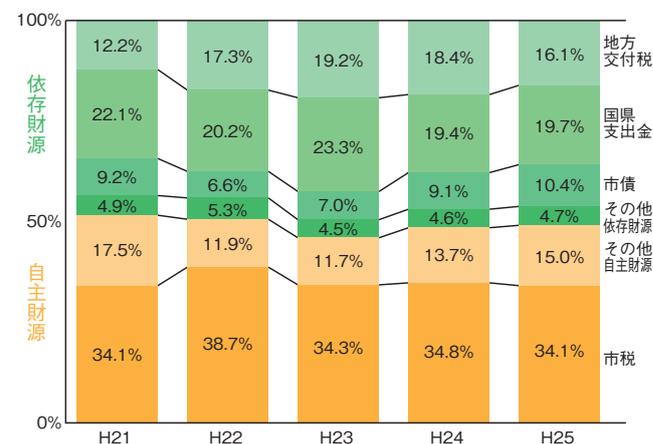
民生費は、児童福祉・老人福祉・生活福祉などの社会保障経費が年々増加しているため、毎年市財政の大きなウェイトを占めています。

土木費は、造成宅地滑動崩落緊急対策事業、片岡地区市街地整備事業がピークを迎えたため大幅増加となりました。

教育費は、片岡中学校武道場建設事業、矢板中学校技術棟建設事業などが増加の要因となっています。

## 財源の構成比の推移

～ 景気低迷により市税収入が6年連続減少 ～



市税は、景気低迷の影響により個人市民税が減少しました。また、地価下落の影響により固定資産税も減少し、市税全体として6年連続の減少となっています。

地方交付税は、震災復興特別交付税の減により減少しています。

国県支出金は、片岡地区市街地整備事業、緊急雇用創出事業に係る補助金の増加などにより増加しました。

市債は、投資的経費に係る市債の増加のほかに、財源不足対策として発行する臨時財政対策債が増加しました。

# 平成25年度財政の健全化判断比率と資金不足比率について

## 健全化判断比率と資金不足比率について

地方公共団体は、財政破たんを早期の段階で回避するために制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(平成19年法律第94号)の定めにより、健全化判断比率及び資金不足比率を算定し、公表することになっています。

健全化判断比率は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率からなります。

これらの比率が早期健全化基準を超過した場合、財政状況が注意水準にあると判断され、財政健全化計画を策定の上で、自主的に財政健全化を図ることになります。

さらに、財政再生基準を超過した場合、財政状況が危険水準にあると判断され、財政再生計画を策定の上で、国等の関与のもと財政健全化を図ることになります。

資金不足比率は、各公営企業ごとに算定されることになっていて、矢板市の場合は、農業集落排水事業特別会計、公共下水道事業特別会計、木幡宅地造成事業特別会計及び水道事業会計が該当しています。

この比率が、経営健全化基準を超えた場合、その公営企業は経営健全化計画を策定の上で、経営の健全化を図っていく必要があります。

## 矢板市の健全化判断比率と資金不足比率

矢板市の場合、平成25年度の各比率はすべて基準を下回っています。また、平成24年度の指標と比較しても改善していることから、健全な財政状況にある

と判断できます。

今後もこれらの比率を見据えた財政運営を行い、より一層財政の健全化を図っていきたく考えています。

### 平成25年度矢板市健全化判断比率

項目	矢板市の比率	早期健全化基準	財政再生基準	平成24年度の比率
実質赤字比率*1	—	13.84%	20.00%	—
実質連結赤字比率*2	—	18.84%	30.00%	—
実質公債費比率*3	12.2%	25.0%	35.0%	12.3%
将来負担比率*4	67.0%	350.0%		69.9%

実質赤字比率と連結実質赤字比率については、赤字額がないため「—」で表示しています。

### 平成25年度矢板市資金不足比率\*5

会計名	矢板市の比率	経営健全化基準
農業集落排水事業特別会計	—	20.0%
公共下水道事業特別会計	—	20.0%
木幡宅地造成事業特別会計	—	20.0%
水道事業会計	—	20.0%

すべての会計において、資金不足額がないため「—」で表示しています。

### 用語解説

#### \*1 実質赤字比率

一般会計等(矢板市の場合は、一般会計とコリーナ矢板排水処理事業特別会計を合算したもの)を対象とした実質赤字の、標準財政規模\*7に対する比率。一般会計等の、赤字の大きさを把握するための指標。

#### \*2 連結実質赤字比率

矢板市のすべての会計を対象とした実質赤字の、標準財政規模に対する比率。矢板市全体の、赤字の大きさを把握するための指標。

#### \*3 実質公債費比率

市が借りたお金を返済するために一般会計等から充てている金額の、標準財政規模に対する比率。標準的な一般財源\*6の額のうち、借金の返済に使われた金額の比率を把握するための指標。

#### \*4 将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の額の、標準財政規模に対する比率。一般会計等が抱えている借金等の額が、標準的な一般財源の額の何年分になるのかを把握するための指標。

#### \*5 資金不足比率

公営企業会計単位での資金不足額の、事業規模に対する比率。公営企業として実施している事業単位で、赤字の大きさを把握するための指標。

#### \*6 一般財源

市税、普通交付税、譲与税など、用途を特定されずに、市が自由に使うことができる財源。

#### \*7 標準財政規模

地方公共団体の標準的な状態で通常収入されると見込まれる、経常的一般財源の規模を示すもの。

比率の算出方法は、市のホームページ (<http://www.city.yaita.tochigi.jp/>) に掲載しています。

# もくじ

市民の皆さんへ……………	1	第3章 豊かな自然を大切にす	まちづくり……………	13-14
矢板市の今年度予算……………	1-2	第4章 安心・安全で快適に暮	らせるまちづくり……………	15-16
新規事業……………	3-4	第5章 活力と活気にあふれる	まちづくり……………	17-18
子育て環境日本一を目指して……………	5-6	第6章 市民と行政が一体とな	ったまちづくり……………	19
第1章 いつまでも健康でいきいき	しているまちづくり…	第7章 行財政基盤の安定した	まちづくり……………	19
第2章 一人ひとりの笑顔が輝く	まちづくり……………	矢板市の財政状況について……………		20-22

## 問い合わせ

担当課	電話番号	FAX番号	担当課	電話番号	FAX番号
総合政策課	(43) 1112	(43) 2292	都市建設課	(43) 6212	(43) 9790
秘書広報課	(43) 3764		出納室	(43) 6215	(43) 5962
総務課	(43) 1113		議会事務局	(43) 6216	(44) 1000
税務課	(43) 1115		教育総務課	(43) 6217	(43) 4432
社会福祉課	(43) 1116	(43) 5404	生涯学習課	(43) 6218	(43) 4436
高齢対策課	(43) 3896		矢板公民館	(43) 0469	(43) 2213
子ども課	(44) 3600		泉公民館	(43) 0402	
健康増進課	(43) 1118		片岡公民館	(48) 0101	
市民課	(43) 1117	(43) 5962	選挙管理委員会	(43) 6219	(43) 6130
くらし安全環境課	(43) 6755	(43) 7501	監査委員事務局		
農業振興課	(43) 6210	(44) 3324	農業委員会事務局	(43) 6220	(44) 3324
商工林業観光課	(43) 6211		上下水道事務所	(44) 1511	(43) 9770



PC・スマホ用



携帯用

編集・発行／矢板市秘書広報課

☎0287 (43) 3764 FAX0287 (43) 2292

🌐 <http://www.city.yaita.tochigi.jp/>

✉ [yaita@city.yaita.tochigi.jp](mailto:yaita@city.yaita.tochigi.jp)

表紙・裏表紙は、川崎城跡公園の梅林